



神さまのおそなえもの

其ノ一



時子!?

あたし
もう無理

子供なんか
いなきや
よかったのよ

ねーちゃん
おいてきたって
どこに!?

どこに
春
おいてきたの!?

——裏山の

玖上さんのところ…

——いない

はるー

はるー

誰か
連れてった
とか…

でもここ
人通り
少ないし…

まさか
この中に
入れたって
ことは—

わ

な…!?



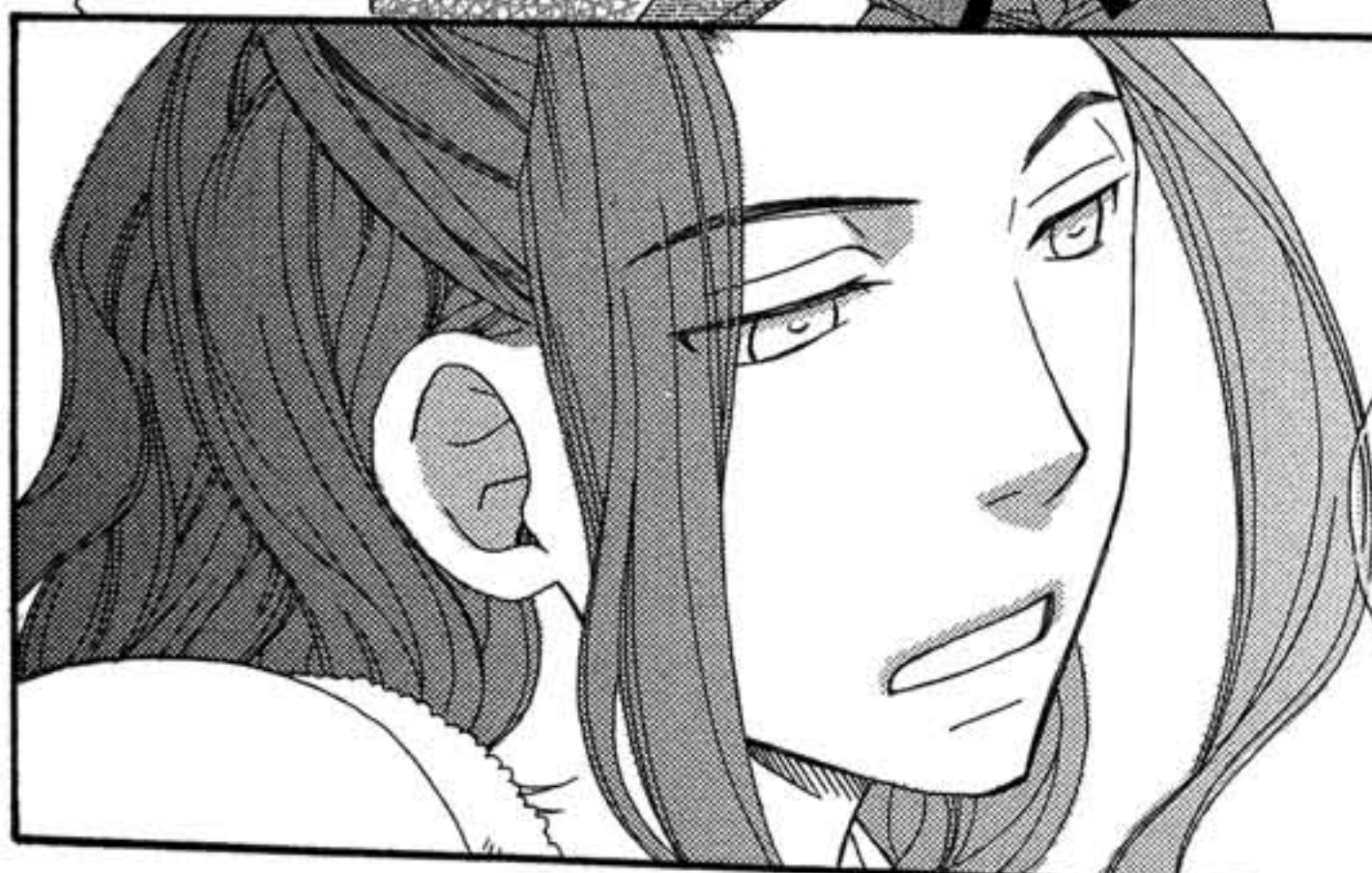
物置きに
するだけなら
まだしも

中に手を
つけようとは
ずいぶん
不躰だな



な

なんだ
この人!?



なにを
するか



母親が
置いていったの
だから

もう
お前の家の
ものではない



その子
ウチの子
なんです



これは
ここに
供された

すでに
我がもの

…あんた誰？



見て
わからんか

この
まじ
主と

え？

じゃ
神様…!?
玖上さんの!?
まさか!!

すけてる!?

信じぬ者に
与える言葉は
ないな

ストゥ...





……!?

——追いて
きたのか



あのっ

……

勝手に
追いてきて
尋ねるか

——ここ
ことは

本当に
神様——